

工事完成

国道140号（新山梨環状道路東部区間Ⅰ期）（仮称）落合西ランプ橋梁下部工事（その2）

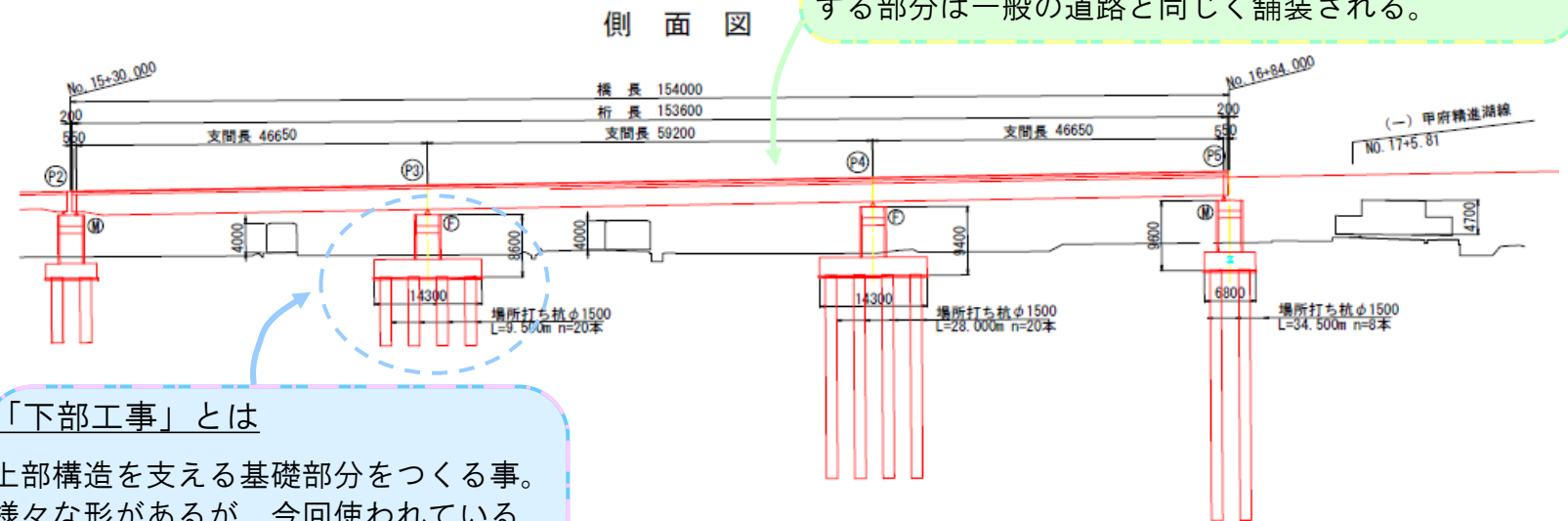
工期：平成30年11月～令和元年12月 施工者：大新工業・中村建設共同企業体

工事概要：RC橋脚工 壁式橋脚 H=7.2m V=126m³ N=1基 橋台工 逆T式橋台 H=5.7m～5.8m V=289m³ N=2基
 ラーメン橋脚 H=9.4m～9.6m V=1283m³ N=2基 場所打杭工 φ1200mm・1500mm L=10.0m～34.5m N=42本



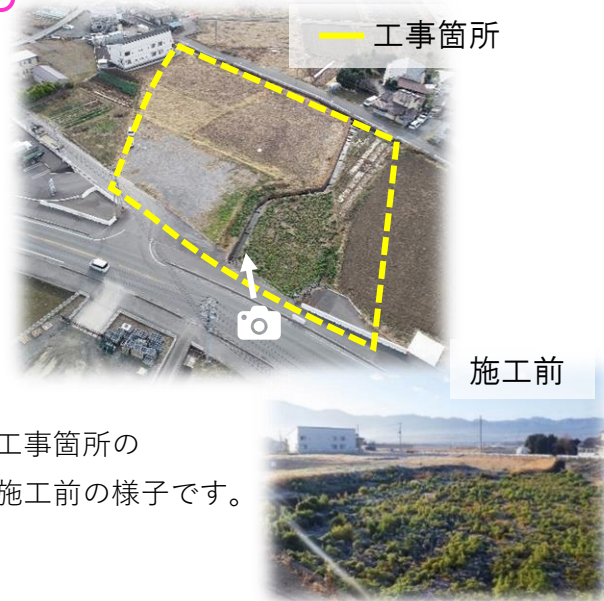
橋梁は「下部工事」と「上部工事」の大きく二つに分けられます。

「上部工事」とは
 土台（橋脚・橋台）より上の部分全体をつくる事。構造によってコンクリートや鉄で作られ、車が走行する部分は一般の道路と同じく舗装される。



「下部工事」とは
 上部構造を支える基礎部分をつくる事。様々な形があるが、今回使われているラーメン橋脚のラーメンとはドイツ語の骨組みに由来し、「額縁」という意味がある。食べ物ラーメンとは全く関係ない。

この工事では、本線を支える土台【橋脚】とランプ（本線への乗り口と降り口）を支える部分【橋台】が完成!! 奥では既に次の橋梁下部工事が進んでいます。



橋脚の基礎になる杭の工事中
 =人間でいう「足」...?
 地中の固い地盤まで杭を打って上部構造を支えます。

橋脚の鉄筋を組み立てていく作業中
 =人間でいう「骨」でしょうか
 鉄筋を組み立てた後、コンクリートを流し込んで土台部分を作っていきます。



1年1ヵ月後・・・



道路橋梁の土台部分の工事である下部工事が終わると、次は車が走行するための上部工事。それらの工事が終了して、初めて完成イメージのようになり、車が走行できるようになります。